

2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
 - II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
 - III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
 - IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
 - V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 福島県 】

学校名【 郡山市立金透小学校 】

1 実践テーマ	I ・ III ・ V
2 実施対象者 (学 年 ・ 人 数)	郡山市立金透小学校 (全学年 151名)
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 (生活科、総合的な学習の時間、体育 国語科、社会科、特別の教科 道徳)</p> <p>② 行事名 ()</p> <p>③ その他 ()</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ()</p> <p>② その他 ()</p>
4 目 標 (ねらい)	○ オリンピック・パラリンピックの歴史や意義について理解を深めるとともに、オリンピックとのふれあいによって夢に向かって努力することの大切さ、スポーツの楽しさやすばらしさについて学ぶことができる。
5 取組内容	<p>(1) バスケットボール男子日本代表パフォーマンスコーチ佐藤晃一さんによる講演、実技体験</p> <p>○ 日時：令和元年9月19日(木) 3, 4 校時(総合1, 体育1)</p> <p>○ 対象：5, 6 年生 60 名</p> <p>○ 講師：佐藤晃一さん(バスケットボール男子日本代表パフォーマンスコーチ、本校卒業生)</p> <p>【事前学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本校の卒業生でもある佐藤晃一さんからメッセージをいただき、質問を事前送付する。 <p>【当日】</p> <ul style="list-style-type: none"> 講演「宇宙飛行士になりたかった私が大統領夫人に会ってオリンピックに関わるようになった」 実技「トレーニング体験」 <p>【事後学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> 佐藤晃一さんへ手紙を書き、学んだことを伝える。



子どものころから現在に到るまでについての講演



体の使い方、体幹トレーニングを実体験

(2) オリンピックデー・フェスタ 学校訪問

- 日時：令和元年12月6日（金）
5, 6校時（生活、総合2）
- 対象：全校生 151 名、赤木小 1, 2 年 84 名
- 講師：小野寺志保さん（サッカー）
橋典人さん（ウエイトリフティング）
本田武史さん（フィギュアスケート）
藤井瑞希さん（バドミントン）
馬淵智子さん（ソフトボール）
矢澤一輝さん（カヌー）

【事前学習】

- ・6名のオリンピックのプロフィールについて知り、当日の質問を考える。

【当日】

- ・オリンピック紹介
- ・オリンピック講話
競技を始めたきっかけ
続けてよかったこと、大変だったこと
オリンピックって、どんなところ？
- ・オリンピック種目を知ろう！Q&A、実技体験
- ・オリンピックとのふれあい

【事後学習】

- ・体験を振り返り、思ったことや考えたことを絵日記や作文にまとめる。



6名のオリンピックによる講演



実技体験・バドミントンでラリー



本物のメダルに触れる



ボッチャ体験

<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 佐藤晃一さんの講演から、夢中になることを見つけることの大切さを考えることができた。また、競技を支えるたくさんの人々の存在を知り、オリンピックへの興味関心を高めることができた。実技体験では、正しいトレーニングによって動きが変わることを実感することができた。 ○ オリンピックデー・フェスタでは、オリンピックの講話や実技、本物の道具等に触れることによって、オリンピックへのあこがれを持ち、オリンピックへの興味関心を高めることができた。 ○ 6学年の大単元構想では、自ら課題をもち、様々な人々と関わり合いながら学びを深めることによって、オリンピックの意義について考えることができた。
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 佐藤晃一さんは本校の卒業生であり、小学生時代の話をしていただいたことで児童は親近感を深め、自分自身を重ね合わせながら話を聞くことができた。 ○ オリンピックデー・フェスタは、JOC オリンピックデー・フェスタ運営事務局の協力を得ながら実現することができた。 ○ 6学年の大単元構想では、多方面に声をかけ、相談しながら様々な地域人材、素材を活用することができた。
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 講師を探しやすいよう、地域セミナーで前年度までの講師活用状況などの情報交換ができるとよい。
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今年度の活動で、「実際にオリンピックを見てみたい」という児童の気運が高まったので、来年度は福島市で開催されるオリンピックのソフトボール競技を4年生以上で見学に行く予定である。